



▲本人

自然とともに育ち、自然を守る国

あさたに 麻谷 美樹さん (デンマーク・オルボー在住)

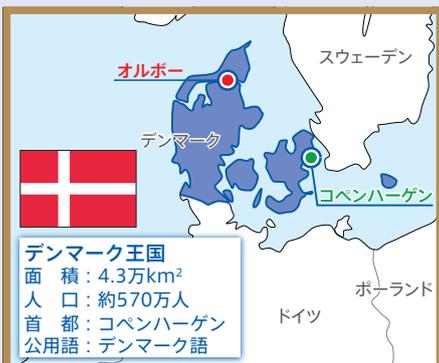


写真出典：Nymarksminde、長女がアルバイトをしている農場の様子

デンマークは、ユトランド半島と周囲の島々からなる北欧諸国の一つです。私が住むオルボー (Aalborg) は、ユトランド半島の最北部 (北緯57度) に位置しているのですが、偏西風と北大西洋海流の影響で、最も寒い2月でも日中の平均気温は約0℃となっています。4月に入ると雪の舞う日もありますが、木々は少しずつ芽吹いており、春はもうそこまで来ていると感じられます。

雨の日も雪の日もお散歩

デンマークに一番初めに来たのはもう20年近く前。お散歩が好きな国民だなあと思ったのが第一印象でした。



デンマーク王国
面積：4.3万km²
人口：約570万人
首都：コペンハーゲン
公用語：デンマーク語

た。少しの雨でも、雪が積もっていても、そして晴れている日は当然のように、お散歩に出ている人を見かけます。公園や住宅街の中をお話しながら歩いていると、街の変化やその時々の花や草木を眺めることができるので、お散歩で季節の移り変わりを楽しんでいると言ってもいいでしょう。自然への愛着が強く、子どもたちから自然の中で過ごす時間がとても多いデンマーク人だからかもしれません。

自然を守ることを学ぶ

小学校の授業には、必須科目として「自然・テクノロジー」の授業があり、1年生から6年生まで、授業の中で自然・動植物・人の体などについて学んでいます。実際に、野外活動を通じて自然の中で子どもたちの好奇心を高めていくことで、自然を守っていくことの重要性が確実に育まれているように感じます。と言っても、我が子が小さい時は、買い物袋いっぱいの木の实、テーブルに積まれた葉っぱ、木の枝等のお土産に随分悩まされました。

日本・デンマーク外交関係樹立150周年

今年は日本・デンマーク外交関係樹立150周年の年にあたり、デンマークの絵画展やデザイン展が日本国内で開催されているそうです。

オルボーから車で1時間半北に向かうと、スケーエン (Skagen) と言うかつては小さな漁村だった町があります。今でも美しいスケーエンの自然や風景に魅了された芸術家たちの作品を、現在、日本国内の美術館で見ることが出来るようです。デンマークの自然を、芸術家の目を通してみる事が出来る貴重な機会かもしれませんね。

昨今、子供たちを取り巻く環境はデンマークでも変わりつつありますが、小さい頃から自然の中で学び・感じる事が出来る環境は、これからも変わってほしくないと切に願います。

(文・写真：麻谷 美樹さん)